

今年も！熱い思いは、安芸から！

「PTA・教育行政研修会」 開催！！

今年も！熱い思いは、安芸から！ー

安芸地区PTA・教育行政研修会が、県内のトップを切って5月29日の土曜日に田野町ふれあいセンターで行われました。

それまでの「懇談会」から、一歩進んだ「研修会」へと名称を変えて3年目。年々盛り上がりを見せているこの研修会への今年の参加者は、全てあわせて100名超！3年前の2倍近くまでに参加者が増えました。さらには、小中学校のPTA会員だけでなく、芸西村や田野町からは保育所、幼稚園からの参加もありました。これは、この研修会自体が単に広く周知されてきたからだけでなく、安芸地区P連の役員さんを中心とした熱い思いや取組が、会員の皆さんに徐々に浸透してきた証といえるのではないのでしょうか。



研修会のテーマは、昨年、一昨年に引き続き、「自ら学ぶ力を育てよう～家庭学習の定着にむけて～」。3年目にあたる今回は、これまでの取組を検証し、さらに深めていくためにどうしていくべきかを考える研修会ということになりました。過去2年間は、県教育委員会の取組説明の全体会のあと、グループ別協議、全体会での報告、協議という流れで進めてきたのですが、安芸地区P連の役員会では、「深まりにくい」、「面白くない！」などの意見が相次ぎ、3年目でもあり何か新しい形を、ということで5名の登壇者によるパネルトークを取り入れることになりました。

ところが、いざ提案を形にしてみるとこれがなかなか…。まず「登壇者はだれに？」、「コーディネーター役は？」から「内容は？」、「グループ協議へどうつなげるか？」等々…。この後、臨時の役員会も開き、夜遅くまで打合せを行い、ようやく当日を迎えることができました。

当日は登壇者の方々にも早めに集まってもらい、最終の打合せ。本番さながらの打合せを終え、いざ！ー。



前半の全体会では、県教委の施策、取組説明が行われ、そしていよいよ登壇者によるパネルトークへ。登壇者は、前安芸地区P連の会長や事務局の教頭先生、そして行政側から県の生涯学習課長等5名のパネラーとコーディネーター役の保護者の計6名。それぞれの立場でのこれまでの取組の状況や安芸地区P連が過去2年間規則正しい生活習慣の確立のため取り組んだ「生活リズムチェックカード」への取組状況などを成果や悩みなどを交

えて発表してくれました。

保・幼・小・中で取り組み成果の上がった事例や県下的に見た安芸地区Pの取組の盛り上がりの状況など過去2年間の成果が挙げられる一方、取組に対して、役員になってはじめて知ったという現状、小規模校ならではの課題、PTA自体のあり方にまでトークは進んでいきました。このパネルトークで出された報告や意見を踏まえて、協議は、フロアの各グループ協議へと移りました。



AグループからIグループの9つのグループでは、これまでの安芸地区P連の取組状況や取組をさらに深めていくための方策については活発に意見が交わされました。どのグループも時間は十分にはありませんでしたが、熱心な意見交換がなされました。

その後、各グループからの提案、報告があり、安芸地区P連として引き続き生活習慣の確立に向け「生活リズムチェックカード」に取り組んでいくことが確認され、この取組をさらに深めていくための方策がいくつか提案されました。この提案をそれぞれの単位PTAに持ち帰って協議し、それぞれの取組段階で「できることからやっぺいこう」ということが確認されました。

初めての試みでうまくいかどうか心配でしたが、役員の方々の熱い思いが通じ、とても充実した内容のある研修会になりました。ある県教委の参加者からは、「安芸地区の研修会は、他の地区に比べて、参加者のものすごく前向きな雰囲気溢れている。」という感想をいただきました。まさにPTAが主体となって、自分たちの取組を大きなうねりにしていこうという熱い思いが伝わった研修会になったのではないかと思います。



みそじまちゃん



はやうちくん



はやうちちゃん



あさこはまん



よらかしおに

©やなせたかし